

University of Wales Trinity Saint David

月例報告書 December 2024

1. 海外生活のしんどいところ

私がイギリス生活 3 カ月を終えて一番困っていること。それは言語でも食事でもなく、まさに携帯電話です。これによってかなり精神が削れました。というのも、現時点で私の携帯では日本の携帯電話番号が使えずそれに伴って SMS が受信できません。SMS が届かないことによりクレジットカード

の SMS 認証やあらゆる online payment においてクレジットカードが使えないのです 😞。もちろん、日本にいた時から海外では日本の電話番号を維持できず SMS も使えないことは知っていました。そのためイギリスでは SMS 認証が必要とされないデビットカードで支払いを行っていたのですが、とある出来事のせいで使えなくなってしまいました。本当に、海外では何が起こるか分かりません。日本にいる間に考えられる問題には対処しておくことや事前にきちんと調べておくことがいかに大切だったかを実感しました。リスクマネジメントって重要なんですね。海外に来てやっと準備の大切さを知りました。今は一応なんとか解決策を見つけて耐えていますのでご安心を！



2. とにかくやさしいお友達

思わぬところでしんどい思いをしていますが、人は誰かと話すことで元気になれます。特に、寮の友達には本当に感謝していて、一番仲良くしてくれるカナダの子は会うたびに遊びに誘ってくれたり一緒に来る？と言ってくれたりします。本当にいい子。彼女のおかげでいろんな経験ができました。



So sweet and good girl 🍓



A birthday party with friends from another accommodation!! 🍰

My first chess game!
The match time was one hour!?



HAVE YOU EVER PLAYED THE SPOON GAME?





友達に誘われて会ったこともない子の誕生日パーティに行ったり(海外のパーティは限度を知らないと思うくらいほんとにハチャメチャで楽しかったです笑)小さな町のバーで知らない人とお酒を飲んだり、イギリスに来て初めての経験ばかりしています。もちろん、英語がネイティブみたいに話せない分友達と分かり合える部分が少なくなってしまうこともあってそのたびに英語伸びないな～しんどいな～と感じたりもします。楽しいことばかりじゃなくてどちらかというといつもと変わらない日常を過ごすことの方が多いですが、いつも友達に助けられています！



3. 友達とお別れ！

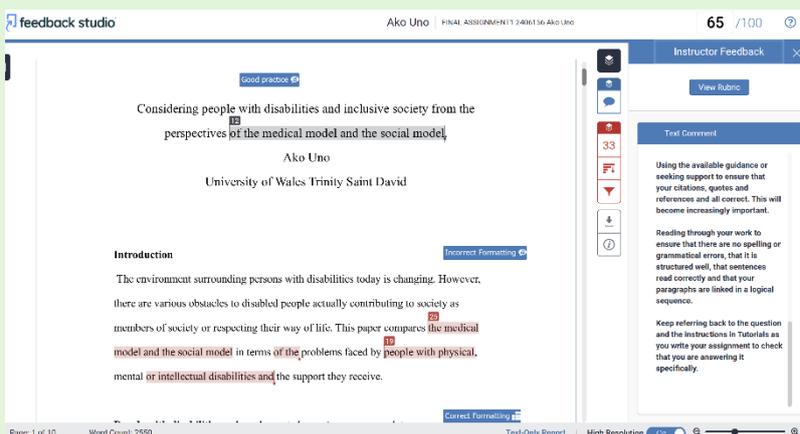


Our last time together

仲良くしてくれていた寮の友達たちは 1semester だけの留学なので、12月に授業を終えるとそれぞれの国に帰ってしまいます。最初の授業のクラスメイトがひとりだけだったこともあり、仲良い友達のほとんどがフラットメイトだったので、別れるのが寂しいのもあり1月から静かな毎日になってしまうなという不安もありました。みんな「いつか日本に行ってみよう」「日本に行ったら連絡するね」と言ってくれて世界中に友達ができるって素敵だなと感じます🌍。実際、留学を終えて帰国するアメリカの友達は年末年始に日本を訪れたそうです笑。日本に興味を持ってもらえたみたいで嬉しいですね笑🇺🇸



4. 授業の成績が返ってきた！



10月の授業の成績がついに返ってきました！この授業の成績は2000字のレポート2つで決まります。今回の written assignments では inclusive society や people with disabilities について論じました。留学生の成績は認定か不可のみなのでスコアはあまり関係がないのですが、やはり気になるのが学生というものです。

気になる結果は… 65/100点と 62/100点でした！このスコアは‘VERY GOOD’といったところだそうです。参考文献は全て英語の論文だったり論文の形式も日本とは異なったりするため正直不安しかなくて、課題の提出期限直前まで四苦八苦していたのでとりあえずはほっとしました。加えて日本の大学との違いを感じたのは提出した課題に対してきちんとフィードバックが返ってくるということ！！少人数での授業のため質問もしやすく、教育環境はとても優れていると感じます☺️

こんなに丁寧に評価してくれます☺️

仲良くしていた友達はほとんど全員留学を終えて各々の国に帰ってしまいました！😭

1月からどんな生活が待っているのか不安ですが来月もお楽しみに🍀